

---

---

## 身体の構造と機能

橋 爪 洋 教授  
水 越 正 人 教授  
森 岡 郁 晴 教授

1 年次通年・必修

2 単位・60 時間

---

---

### 【概要・目標】

講義と実習を通して構造(解剖)と機能(生理)を関連づけながら、正常な人体の成り立ちを理解する。疾病や病態の理解のためには、正常な人体の構造・機能に関する正確な知識を習得することが必要となる。(オムニバス方式)

(橋爪教授) 呼吸器系、消化器系と代謝(前期)、神経系、特殊感覚(後期)

(水越教授) 人体:オリエンテーション、化学の基礎、細胞と組織、皮膚と膜、内分泌系(前期)、心臓血管系(後期)

(森岡教授) 骨格系、筋系(前期)、血液、リンパ系と生体防御機構、泌尿器系、生殖器系(後期)

上記の構造と機能について疾患の発生に関連する知識を整理し、後の病態学の学習のための知識とする。

---

### 【授業内容のスケジュール】

(担当)

#### 【前期】

人体:オリエンテーション・化学の基礎

水越

細胞と組織・皮膚と膜

水越

骨格系・筋系

森岡

内分泌系

水越

呼吸器系

橋爪

消化器系と代謝

橋爪

組織実習

全員

#### 【後期】

神経系・特殊感覚

橋爪

血液・リンパ系と生体防御機構

森岡

心臓血管系

水越

泌尿器系

森岡

生殖器系

森岡

※系統解剖学実習見学(1/2回)

全員

---

### 【評価】

筆記試験(80%)、出席状況(10%)、提出物(レポート等)(10%)

前期・後期にそれぞれの講義内容について筆記試験を行い、評価は通年で判定する。

---

### 【教科書】

エルン N. マーブ 著「人体の構造と機能」医学書院 2015 年(第4版)

改訂の場合は発行最新版を使用

---

### 【その他】